

本誓寺  
門徒会通信  
第四号

発行責任者  
白崎 英旦

五常の徳から見た本誓寺感

本誓寺の門徒の皆さん如何お過ごしでしょうか。本誓寺を正常化する門徒の会の活動を始めてからどれだけの歳月が経ったでしょうか。この間、皆様とご一緒に皆様の意(心)を感じて活動していることが、私には誇りに思える今日この頃でございます。

さて、今回は五常の徳から観た本誓寺を、皆様とご一緒に考えてみたいと思います。なんと五常は観方を変えれば正常とも読めるではございませんか。仏様の意を感じます。勿論、私の言う五常とは、孔子の教えである仁・義・礼・智・信の徳目の事でございます。五常の徳を何が正しいか、何を信じれば良いのか解らないでいる御門徒の皆様判断の尺度にして頂ければと存じます。五常の徳から仁とは、人を思いやる心を持つこと、広く人を愛すること、人間が守るべき理想の姿なのです。義とは、正しい行いをする

こと、私利私欲にとらわれず、人の歩んでいく正しい道のことです。礼とは、豊かな心を示すことで、人の世に秩序を与える礼儀礼節を意味し、相手に敬意を持って接することでございます。智とは、人や物事の善悪を正しく判断する知恵のことです。そして信とは、心と言葉、行いが一致し、嘘が無いことで得られる周りの人からの信頼でございます。仁といえは、人、門徒を思いやっていたきたい。義にしては親である住職様、母である坊守様と子や孫が自由に会うこともかなわず、門徒も直接お会いすることが出来ないことは誠に遺憾です。礼と言えは、私ども門徒会の役員が何度となく足を運んでも対応して頂けませんでした。智が備わっているのであれば、もめごとは生じるでしょう。信には、現在は法廷に於いて財務を含めた事務所備え付け書類の開示請求がなされております。さて、皆様はどうご判断いたしますか。私は住職様に会いたい、坊守様とお茶っこを飲みながら楽しいお話をしたい、これが今のささやかな夢、望みでございます。

(会長 白崎英旦)

第二回本誓寺説明会

七月十三日に本誓寺本堂で第二回本誓寺説明会が開催されました。我々本誓寺を正常化する門徒の会(以下、当会)会員も是非お寺の現況を知りたく出席を予定していました。しかし、七月十日付書面にて混乱を避けるための理由にて説明会への出席を遠慮するよう開催者から申し入れがあったため、欠席いたしました。出席された御門徒のお話しを聞き、その記録を拝見致しますと、候補衆徒吉田明氏の非行の話と人格攻撃、家族への批判が繰り返されたようです。もし、説明会の内容が真実であれば全門徒に対し文書として公表されるべきであり、住職様より、直接、全門徒に対しそのご説明をして頂くことを切に願っております。(監事 大関英雄)

当会としての基本姿勢

これまで三年余にわたる活動を通して一貫してきたことは、本誓寺が御門徒の心よりどころとなる「当たり前」のお寺に戻ることをお願いすることであり、先祖代々受け継がれたお墓を守っていくことです。吉田家個人の

問題を前面に出すことなく、公平な立場で対処して頂きたいと願うものです。当会では住職様同席の上、本誓寺説明会を主催された方々との話し合いはいつでも受け入れる用意があります。このままの状態が続けば本誓寺はどうなるのでしょうか。当会で確認しているだけでもすでに8人の御門徒が他院へ転出し、離壇しております。今後そのような方が増えることが危惧されますことから、一日も早く、あるべき寺の姿に戻るよう、弁護士の御意見も参考にしながら引き続き活動してまいります。

活動協力金への御礼

当会への活動協力金につきましては、多数の皆様にご理解を賜り厚く御礼を申し上げます。十一月中に今年度の総会を開催し、その際、収支決算を含めたこれまでの活動報告をさせて頂きますので、向後とも御支援の程宜しくお願い申し上げます。

<お知らせ>

皆様からの御意見、御質問、御要望を随時受け付けております。  
FAX : 019-662-7331  
または、メール oga-koke@diamond.broba.cc  
にて御送付下さい。